

おおあらい

第19号

発行所 大洗町役場
印刷所 大洗町印刷所
岩城印刷所
大洗町印刷所

改選初の臨時町議会

議長 大貫熊氏 副議長 久保木氏

大洗町議改選初の臨時町議会は去る十一月三日の佳き日午前十一時三十五分開会、まず議員最年長の清水(伝)議員を臨時議長として日程に入る。始めに議長選挙を議題として審議の結果、大貫熊議員を満場一致で議長に指名推選した。大貫新議長就任挨拶のあと副

議長選挙に入り同じく満場一致をもつて副議長に久保木清議員を指名推選した。午後一時五十分休会し翌四日午前十時四十分再開した。各常任委員の選任を行い、無記名投票の結果それぞれ別項のとおり決定した。さらに臨時出納検査立会議員三名を選任し散会した。

われらの代表二十名ささる

新選良への期待は大きい

投票率 86.20%

大洗町が誕生して二回目の町議会議員の選挙は去る十月二十日、町民の深い関心と期待の中に行われました。この日心配された雨は小降ですみ出足は早朝から好調、正午までは約四〇%の投票率、投票締め切りの午後六時には八六、二〇%、これは大洗町としては最高です。

三十の椅子をめぐる候補者三十六名激しい争いの審判は午後七時半から役場本館で行われる開票をまつて下る。開票時刻がせまる頃には役場前には結果いかにと胸をとろかせながら集る関係者が黒山の人、七時半投票開のふたが、つぎつぎと開かれ、役場職員の手によって開票が開始された。緊張した空気のなかに一時間毎に中間発表がある。運動員がいそがしうに連絡に飛ぶ、時間がたつにつれ各候補の得票があきらかにたつてくると悲喜こもごもの顔々、開票所はまさに興奮の渦に化つた。午後十一時過ぎ当落の見通がつかずと表の人達も一人去り二人去りして行った。

一、当日の有権者			
男	六、〇二六	女	三、四四六
計	九、四七二		
二、投票			
男	七、二〇三	女	三、三三一
計	一〇、五三六		
三、投票率			
男	一、一八三	女	一、一八三
計	二、三六六		
四、各候補者得票数			
氏名	住所	得票数	得票率
大貫 熊	磯浜町	七〇七	三三・四六
久保 木	磯浜町	五〇二	二二・一三
清水 伝	磯浜町	四八八	二一・〇五
菅 原	磯浜町	三九六	一七・二五
田口 富	磯浜町	三九六	一七・二五
松井 平	磯浜町	三九六	一七・二五
水野 谷	磯浜町	三九六	一七・二五
石崎 作	磯浜町	三九六	一七・二五
田中 義	磯浜町	三九六	一七・二五
正木 庄	磯浜町	三九六	一七・二五
皆藤 源	磯浜町	三九六	一七・二五
関根 喜	磯浜町	三九六	一七・二五
加藤 喜	磯浜町	三九六	一七・二五
加部 東	磯浜町	三九六	一七・二五
平山 智	磯浜町	三九六	一七・二五
小野 勝	磯浜町	三九六	一七・二五
深 作	磯浜町	三九六	一七・二五
菊池 彦	磯浜町	三九六	一七・二五
飯島 一	磯浜町	三九六	一七・二五
清水 多	磯浜町	三九六	一七・二五
田山 勇	磯浜町	三九六	一七・二五
大貫 定	磯浜町	三九六	一七・二五
神 山	磯浜町	三九六	一七・二五

町勢発展に全力

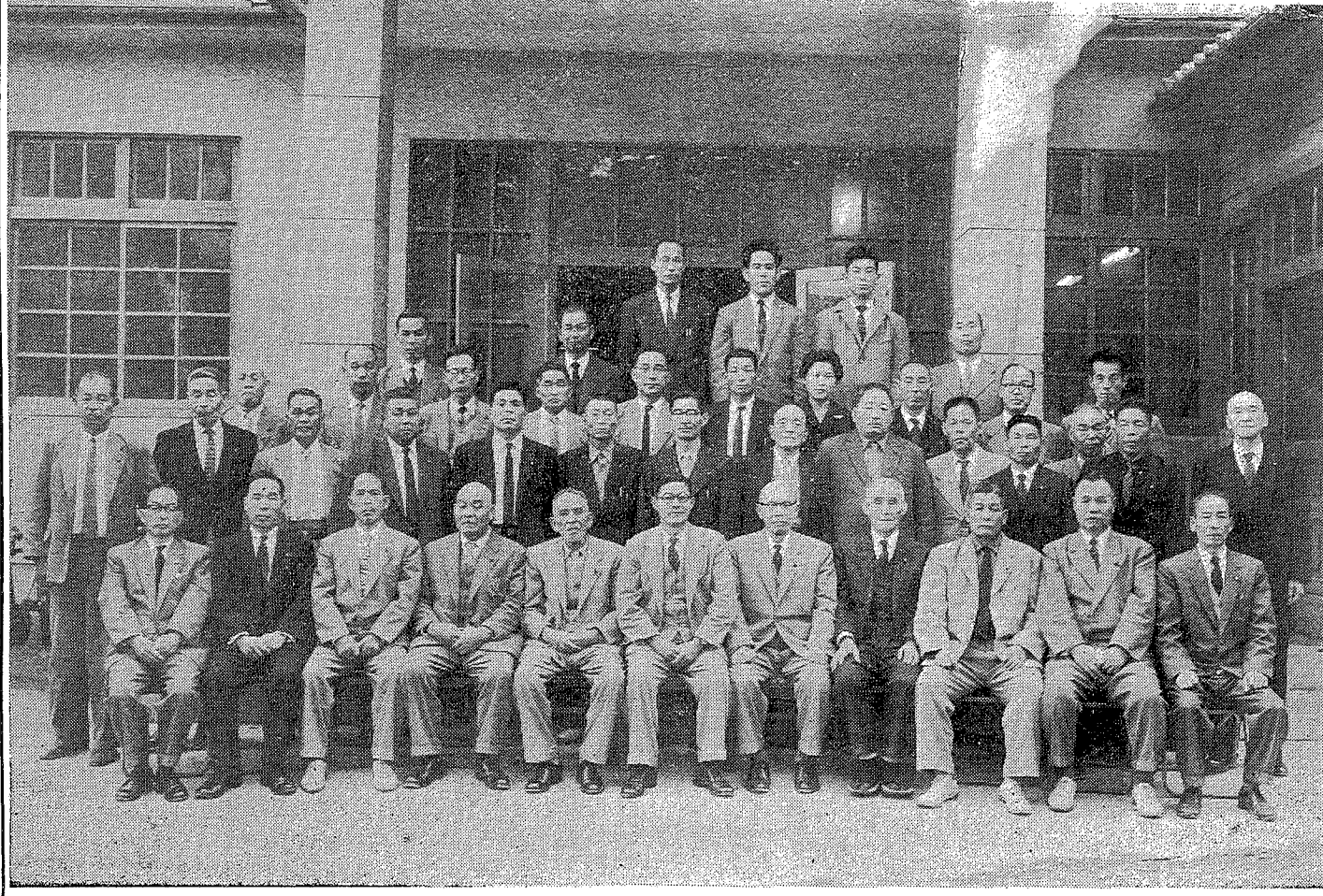
町議会議長 大貫 熊 雄

このたびは不肖私が議員諸公の御推選を得た。町民の方々の御期待にこたえ、町勢発展に全力を傾注する覚悟であります。町民の生活の向上、町政の刷新、町民の福利増進、町の発展を期すことといたします。

「大貫議長略歴」
昭和十二年五月十二日磯浜町議選以来連続六期当選、その間二十六年五月より町村合併まで、その間一期副議長に就任、磯浜町一〇九八、酒類商、六十八才
開かれて各委員会を組織し、選出されます。そのほかの各種委員の選任も逐次定められることとなります。町の政治は議決機関である議会と執行機関である町当局とが真に一体となつて住民の福利増進、町の発展を期することといたします。皆さんが選んだ代表者の方々に深い愛町心に燃へながら、この重い責任を果たすべく一層努力をされることといたします。大洗町の一層の発展と全住民のよりよき幸福のため三十名の代表者の方々の御健闘を心から期待してやみません。

新選良30氏

23,000の与望をになう



議長 大貫熊雄
副議長 久保木清
常任委員の顔ぶれ
務(七名)
田山勇之助
飯島一之介
菊池彦衛門
菅原 弥
大貫 定夫
鬼沢保兵衛
小松崎弥四郎

建設(七名)
才田 久寿
米川徳次郎
松井平兵衛
水野谷利秋
石崎作衛門
田中義弘
正木庄四郎

教育民生(七名)
田山 安蔵
清水 多喜
皆藤源次郎
田口富之介
関野清兵衛
関根 恵一
磯崎 一郎

経済(七名)
加藤 伝四郎
関根喜衛門
清水伝次郎
加部東喜四郎
平山 智得
小野 勝雄
深 作

臨時出納検査立会議員
清水 多喜
飯島一之介
菊池彦衛門

外港建設

本格的な海況調査

磁気波高計を設置

建港外

大洗町に
いりと調査がつづけられ
着々実績
外港を！
をあげております。

それは何
十年來の
わたしの
たちの切
なる念願
であり大
きな期待
でありま
す。この
実現と成
功こそ大
洗町の将
來を左右するキーポイントです。
そしていまこの夢が実を結ぼうと
しています。港の建設は非常な大
事業であり工事の着手までにはあ
らゆる角度から科学的な徹底した
基礎調査が必要です。

特にいわゆる荒海とよばれる大洗
の海の状況を把握することは、た
しかにむづかしい仕事でありまし
よう。一昨年以来県と町とで経費
を負担し県の出先機関である那珂
湊市所在の東那珂地区建設事務所
の手によつて二ケ年にわたりいろ

調査が
つづけられ
着々実績
をあげて
おります。

調査の
もうよう
をかんた
んに申し
上げます
と、大洗
の沖合一
帯にわた
つて行わ
れる深淺
測量、港
の建設に
は極めて
大切な潮
流の調査
、海の底
の砂の異
動漂積状
況を調べ
る漂砂の
調査、海
底の地質
調査、浪
の高低と
抵抗をつ
かむため
の波浪調
査それと
氣象観測
等このよ
うないく
つかの基
礎調査が
最も進ん
だ新しい
科学の技
術と機械
とで広範
囲に亘り
反復よく
港湾建設
計画の重
要な資料
となるの
です。こ
んど大洗
ホテルの
すぐ隣り
に海況を
調査する
ための観
測所が新
設されま
した。そ
してここ
から七〇
〇米の沖
合水深九
米の海底
に電磁氣
応用のケーブル型波高計がふせ
つされます。機械の本体は別図(1)の通りです。

この機械は海の底で水圧の変化を敏感にキャッチしそれがそのまゝ、ケーブル(海中電線)を通過して陸上の観測所にある机の上のグラフに自動的にペンを働かせ波形状を記録するもつとも進んだ新式の

機械です。別図(2)はその設備装置の状況です。

この機械が雨の日も風の日も連日連夜ついで波浪の状況を正確に表示してくれます。そして港をつくる設計に大きな役割を果してくるわけです。それと嬉しいニュースは運輸省において大洗外港の設置にいいよ本格的に乗り出され明年度には国の予算も出して調査を更に拡充してくれることになりました。

夢から実現へ！港の建設によつて将来の大洗町がどんな発展飛躍をするでありましょうか、私達の世代にこの夢が実現するならばそれは私達の生涯を飾る一大慶事であり後世に譲へられる一大業績であると思います。五ヶ年いや十ヶ年それ以上の年月を費いしても朝野をあげてこの大事業と取組み、いかなる困難も踏み越えて実現の日も早からんことを切に望んでやみません。

始まつた『完全給食』
大貫小学校で

学校教育の重要な一環として当町ではまづモデルケースとして大貫小学校で十月からいよいよ実施に入りました学童の食事についての正しい理解と習慣、明るく社交性、食生活の合理化と健康増進等の大きな成果が期待されます【写真は調理室と楽しい給食のひととき】

十月七日児童の楽しみに待ちあぐんでいた完全給食の日がやつてきた。児童の喜びは時の終りのベルが鳴るときようの給食当番がマスクをきけ白いかつぼう着、白い帽子を身につけて給食室へ行く友達との姿に『自分も当番になりたいなあ』という表情を顔一ぱいに見せている。当番児童によつて給食室から皿、コップ、スプーン、パン、ミルク、副食とつぎつぎに教室へ運ばれてくる。パンの臭いおいしいミルク、うれしいおかずのにおいが腹のへつた鼻先へプーンとついてくる。私の上には白いナフキンが置かれ当番によつて運ばれてくる

パン、ミルク、副食と、じつと目づめている喜びはかくしきれない。当番児童も金くよきお母さんごりを發揮して平等に分ける苦勞もまた楽しい情景である。誰もが同じものを食べるし考えて見ただけでも氣もちよい昼食の時間である手洗いからいいただきますまで十五分、実に早い仕草である、もちろん一人四秒という早さでこれは給食事前の指導の結果であると云える。特に給食が始つてからは『水の節約』はきびしい。児童も充分に認識してよく協力してくれている。今までクラスの中に

は辨当のおかずのことで家人を困らせていた児童も今では実に楽しそうに、又、姿勢もよくなり効果



當番の児童が口々に給食室は『素晴らしい』と施設設備の今までのような補食給食時代と異つた器具に驚きの目を見はつてゐる。
 先ず給食室が改増築され一〇坪増し二四坪となり清潔な部屋だと見たゞけで感じるのである。その中に施設として、ミルクの二重釜、平釜、野菜裁断機、洗浄機、球根皮むき機、ミキサー、フライヤー燃料として重油バーナーを備へ、出来るだけの機械化を考えた校長先生の計画はいまになつて効を奏し、生れたばかりの本校ではある。

実践に至る裏には町当局を中心として、有志の方々、給食運営委員会、PTAの深い理解と推進に寄与して下さつた努力の賜と深く感謝してゐる次第です。

実践された現在、給食運営においてはただ給食をするだけでなく、やはり学校教育の中における給食教育という面をとり上げ、教師自身の研修も当然必要なことで、二期學期早々二グループに別れて、實際の運営、児童の活動状況を先進校の瓜連小学校、友部小学校とそれらへ見学してきたわけで、現在大いに参考として取入れているものである。

『百聞一見にしかず』というが、やはり現場の姿を自分の目で見ることが、児童に対する深い理解の上に立つ教育が生れてくるもので

港灣整備促進全国大会

加藤町長獅子吼

十一月五日衆議院會館に於て全國各府県代表百五十余名代議士三十數名が參集して開會し港灣予算の現状と昭和三十五年度予算要求並に港灣の現状と三十五年度事業計画の概要につき運輸大臣及び中道港灣局長、坂本港灣建設局長よりそれゝ説明があり白熱的な討議が行なわれまし。本県代表は、若藤大洗町長、小幡良義が果當局とともに出席し町長は本県港灣の實情を訴ゑ特に鉆子より本町確実となつた。

に至る四十里の間に港がなく年々多數の遭難事故による遺族の切々たる訴ゑを披歴し遠く小名浜まで避難港一つだになき実情と北関東東北部に於ける地方産業振興のセンターとして今後ますます重要性を加へつくある石油基地港の必要性を力説した。

尚本町外港については三十六年度より着工する前提として三十五年度本省直轄の調査費の通過はほと

速い通報、少い損害

年も住民税を納期限内に完納して下さい。また古い滞納についても、尾税を必ず完納して明るい郷土の景と町が一体となつて強力に整理建設に御協力下さい。

大洗町消防団
随一の整備

過ぎる昭和三十一年に行われました消防団設備運営基準調査では四級（一級・十級）でありましたがその後年次計画をたててあらゆる施設に財政の許す限り努力を重ねてまいりました。本年七月県係員指導のもとに行われました調査には二級として県内有数の折紙をつけられました。今一步で最高の一級を得る施設が完成されるのであります。

去る九月二十日には茨城県消防大会が茨城会館に於いて挙行されました。

「備へあれば憂いなし」の諺がありますがいかに充事した設備があつても住民皆さん大くの協力がなければ優良な所よい幸福な町にはなれません。これから寒さに向ひ火を使う季節になります。火災を起さないようお互いに注意をいたしましょう。

永年勤続表彰（三十年勤続）

第三分団長 大貫末吉君

消防団員表彰

第四分団長 石崎作純門君

国際的な農業調査

來年二月一日現在で

昭和三十五年二月一日を期し、農林業センサスを行う。本九月六〇年世界農林業センサスという名称で実施することにしました。この調査は十年目ごとに国際連合食糧農業機構（FAO）の提唱により世界一〇〇余か国が参加して行う一大農林業基本調査で、わが国としては農林統計調査中最が不安定となり、従来、増産中心から、将来にわたる見通しをもつ農政を確立し、農業の発展と農民の地位の向上を図る農業政策を打ち樹てなければならぬ時期にあるといわれています。わが国でも早くからこの一九六〇年世界農林業センサスの実施を決定し、農林省が中心となり、各都道府県市町村が一体となつて準備を進めてまいつたのであります。円町におきまして、この調査の当否な運営と所期の目的達成のため着々その準備を整えておりますので、この調査が今後の農政のあらゆる分野で活用される基礎的統計を作成するのに大いに役立つことをよくご理解いただき、一段のご協力をお願いいたします。



が他校の先生方も驚いている位である。

だが大洗町の完全給食モデル校としての現在までの運営、計画、実

も大規模なそして総合的な調査なのです。この世界農林業センサスは『経済統計に関する国際条約』により十年目ごとに行うことが定められており、世界の農林業生産を安定し、発展させるため国際的に比較できる基礎的統計資料の作成を目的としています。

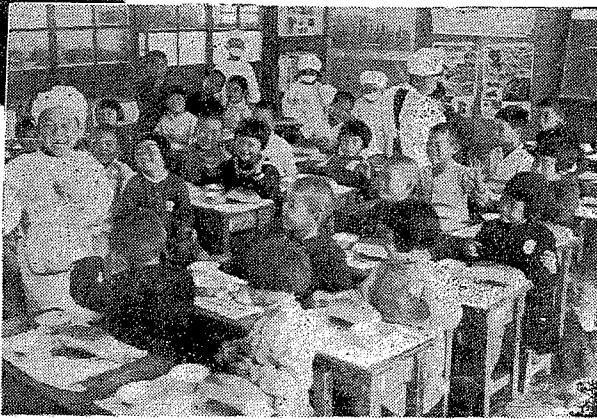
になり、みんなも、にこにこ話しながら楽しく食事するようになりました。

栄養のものをつくつてくれるので大へんからだもよくなつてきます給食のお金も国から出してもらえんというので少なくてすみます。

えいようのこともこれから勉強できると思うとうれしいと思います

の考え方では農業所得の増大を図ることができなくなりました。また農業だけでは生活の安定が得られないたため、農家の兼業が一層増加しています。

それにも拘らず依然として農家の所得は他産業従事の世帯に比較すると低く、です。このような実情



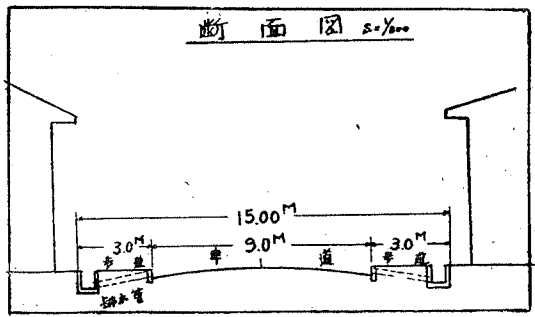
「百聞一見にしかず」というが、やはり現場の姿を自分の目で見ることは、児童に対する深い理解の上に立つ教育が生れてくるものであると信じている。

なお完全給食が始つてからの児童の感想を紹介して見ると、完全給食になつてからは毎朝おんどをつくらなくて朝ごはんを食べただけで学校へ行くようになったのでうれし。食事の時も誰とも同じものをいっしょに食べられるので本当に気持ちよく、手洗ひ、完全給食になつてから、手洗ひ、食事の準備なども早く出来るようになり、みんなも、にこにこ話しかけながら楽しく食事するようになりました。

大食へんから、ごはん、なつてきます

今月中にとりかへる 神社前の道路拡張

総工事費九〇〇万円



当町観光の中心である大洗地区は、県立公園の整備とともに神社境内の公園化も昨年に引つづいて実施される見込みである。道路延長二〇〇メートル、幅員一五メートル、両側に三メートルの歩道が設けられ、取敢えず砂利で舗装する予定である。取敢えず砂利で舗装する予定である。取敢えず砂利で舗装する予定である。

皇太子さまをお迎えし 放魚まつり盛大に終る 町史を飾る一大行事

十月十日大洗町は早朝から雨となくさわやかな秋晴れであった。皇太子さまをお迎えし、放魚まつりを盛大に終る。町史を飾る一大行事。皇太子さまをお迎えし、放魚まつりを盛大に終る。町史を飾る一大行事。

喜びの総合優勝 県民体育祭第6回郡大会

八上競技(男子) 団体八位
飯井昭光 古渡 鬼沢 守 猛
飯井昭光 古渡 鬼沢 守 猛
飯井昭光 古渡 鬼沢 守 猛

赤ちゃんコンクール 町代表に健二君と美智子ちゃん

大洗町第三回赤ちゃんコンクールが本年九月十四日より十八日まで実施された。応募された赤ちゃんやんが二百八十六名あり、その中からたぐくさんの優良赤ちゃんやんが選ばれ、賞状と賞品を一人一人に贈られた。



三十三万七千八百四十四目標 みんなの心を集める運動

『赤い羽根共同募金運動』も今年で十二年目を迎えました。この運動は世の中の不幸をなくし、みんなの心を集める運動です。三十三万七千八百四十四目標。みんなの心を集める運動。

伊勢湾台風被害地へ 温かい贈り物

去る九月二十六日の伊勢湾台風は、大洗町に大きな被害をもたらした。温かい贈り物。伊勢湾台風被害地へ。温かい贈り物。

サテライト局

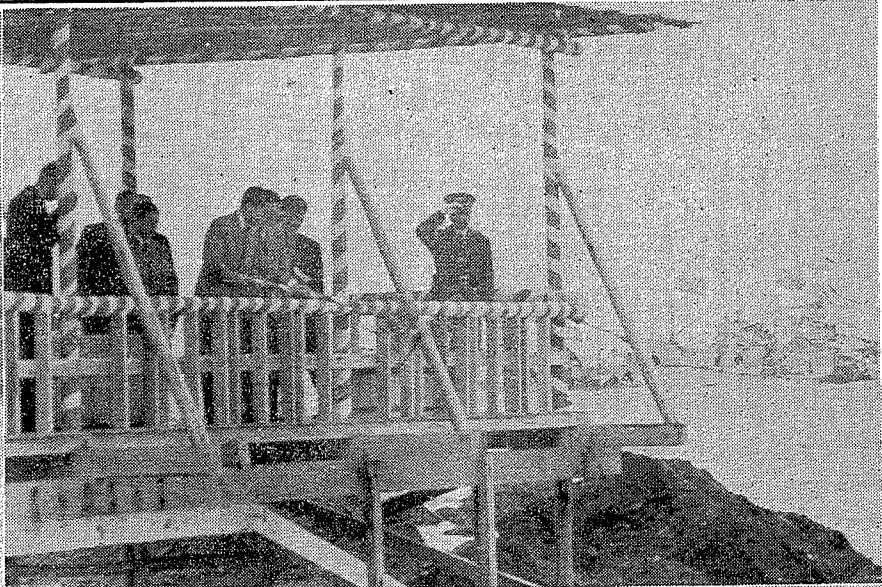
テレビの普及が目まぐるしく、各地にテレビ局が建てられ、電波の届かない地域、例えれば山奥の山村など、電波の届かない地域、例えれば山奥の山村など、電波の届かない地域、例えれば山奥の山村など。

お母さんの勉強室

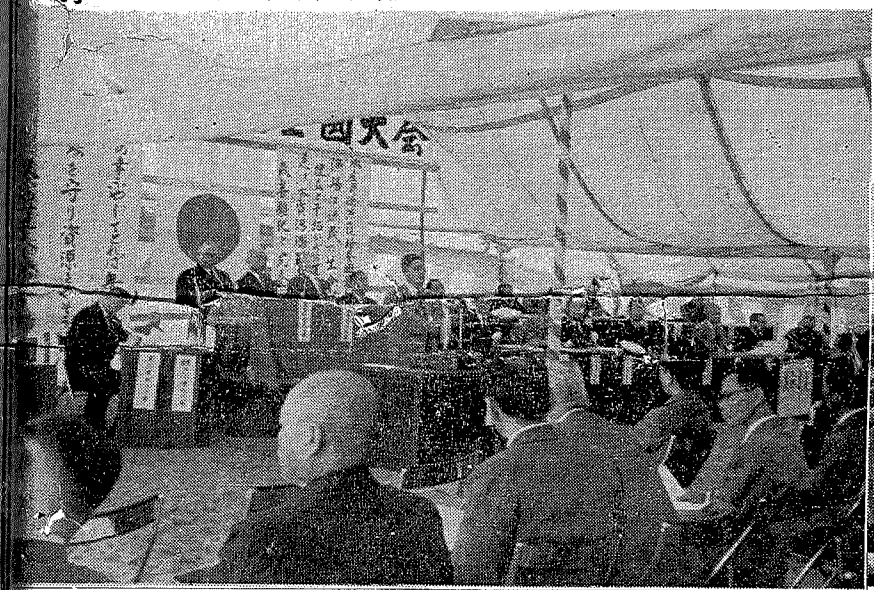
自動中継局(局)と呼ばれます。つまり無人局です。サテライト局は、テレビ局のチャンネルを変えて流すのが普通です。お母さんの勉強室。

輝く農林大臣賞

第十回全国統計大会が去る十月十五日大阪市中之島で開催されました。輝く農林大臣賞。第十回全国統計大会が去る十月十五日大阪市中之島で開催されました。



ま放
つ巢
い



町長 加藤 清

放魚祭のため皇太子様がわたくしどもの町へおいでになるといふことが内定したのは九月のなかばであつた。放魚祭というのは海水面や内水面の魚類目類等の資源を保護するための全国的な行事であつた。皇太子様は昭和二十二年に学習院生徒として修学旅行で当町へお見えになつたことはあるが、公式ではおいでになるのはもちろん初めてである。主催は資源協会と県であるが漁連とわたくしどもも加つて準備のため幾度か会合があつた。特に奉迎のための数多くの人々の位置と皇太子様の通路の問題は論議の焦点になつたがわたくしは、できるだけ間近かで奉迎できるよう進言した。なお非常に嬉しかつたことは町の漁業組合所属の大型小型船の満載飾による海上奉迎パレード及び採草組合のたらい舟がてら計画がたつたこと、磯節保存会が是非出場して皇太子様にみていただきたいと申し出たことであつた。この両者はどちらも全く自主的な発意であつたことは記憶されるべきことであらう。ただ前者は当日の海上の波浪が心配になつたのと後者は場所と時間にやゝ難点があり、間際になつてようやく野外でやることと時間の関係上皇太子様が歩きながらご覧になるといふことで決つたのであつた。当日午前十時会場では全国の水産業代表者五百余名が集まつて資源保護大会が開かれ、わたくしと小幡県議も地元代表として出席し祝辭を述べた。続いて別に設けられた斎場で大洗神社の篠塚宮司の手により放流するあわびとはまぐりが祭壇に供えられおごそかに祝詞が読まれた。この頃と前後して海上へ満載飾を施した大型船、小型船が保安庁の『はつかぜ』及び県指導船『ときわ』に率いられ、堂々二百二十余隻が編隊を組んで現われた風が少々強く吹き初めたので波頭が白く砕け左右に舷が揺れるのが遙かに見受けられ、それだけ一寸身震いの出るような懐かしい感じがした。とくに林立した大旗小旗は空をおおい歴史で読んだ元寇の戦か、源平の屋島合戦のような絵巻物を連想させた。町町まつて以来の牡蠣の声を埋める親衆は思はず歓呼の声を上げた。やがて定刻わたくしは緊張して所定の位置に立つた。

放魚祭のため皇太子様がわたくしどもの町へおいでになるといふことが内定したのは九月のなかばであつた。放魚祭というのは海水面や内水面の魚類目類等の資源を保護するための全国的な行事であつた。皇太子様は昭和二十二年に学習院生徒として修学旅行で当町へお見えになつたことはあるが、公式ではおいでになるのはもちろん初めてである。主催は資源協会と県であるが漁連とわたくしどもも加つて準備のため幾度か会合があつた。特に奉迎のための数多くの人々の位置と皇太子様の通路の問題は論議の焦点になつたがわたくしは、できるだけ間近かで奉迎できるよう進言した。なお非常に嬉しかつたことは町の漁業組合所属の大型小型船の満載飾による海上奉迎パレード及び採草組合のたらい舟がてら計画がたつたこと、磯節保存会が是非出場して皇太子様にみていただきたいと申し出たことであつた。この両者はどちらも全く自主的な発意であつたことは記憶されるべきことであらう。ただ前者は当日の海上の波浪が心配になつたのと後者は場所と時間にやゝ難点があり、間際になつてようやく野外でやることと時間の関係上皇太子様が歩きながらご覧になるといふことで決つたのであつた。当日午前十時会場では全国の水産業代表者五百余名が集まつて資源保護大会が開かれ、わたくしと小幡県議も地元代表として出席し祝辭を述べた。続いて別に設けられた斎場で大洗神社の篠塚宮司の手により放流するあわびとはまぐりが祭壇に供えられおごそかに祝詞が読まれた。この頃と前後して海上へ満載飾を施した大型船、小型船が保安庁の『はつかぜ』及び県指導船『ときわ』に率いられ、堂々二百二十余隻が編隊を組んで現われた風が少々強く吹き初めたので波頭が白く砕け左右に舷が揺れるのが遙かに見受けられ、それだけ一寸身震いの出るような懐かしい感じがした。とくに林立した大旗小旗は空をおおい歴史で読んだ元寇の戦か、源平の屋島合戦のような絵巻物を連想させた。町町まつて以来の牡蠣の声を埋める親衆は思はず歓呼の声を上げた。やがて定刻わたくしは緊張して所定の位置に立つた。

日頃御写真で拝見されたりおりである。わたくしは謹んであるさつと路の両側を埋める人々の間から嵐のような拍手が起る。殊に先生に引率された二千余りの小中学生は眼を輝やかせてお迎えして、水族館下の牛轡の上に設けたさん橋の上へご案内申し上げた。すでにそこには高橋水産部長と浅原資源協会専務理事が、祭壇に供へたあわびとはまぐりを捧げてまわうけていた。それを最初に放流していただくよう皇太子様にお願いする。早速さん橋の上から真下の深い淀に放流された。それは合図にすぐ傍の岩礁附近にたらい舟に乗つて待機していた採草組合員からあわびの稚貝が投げられ、沖合の小型船からはまぐりの稚貝が投げられた。それが終わつてからわたくしはさん橋の上に設けられた水槽の縁へ皇太子様を案内して『この中の活きた魚を放流して下さい』とたま綱をお渡した。『あ、そうですか』と早速気軽にうなづかれてすくい初められた。初めはせいぜいごいなだが入つた。わたくしはいなだが入つた時『これは大洗の海でとれたいなだです』と説明したところうなづかれていたが二回目のとき入つたせいごをご覧になつて『これはせいごですね』といはれた。これは一寸びつくりしたがかねがね東大の末広教授から生物学を学ばれておるといふ話を聞いていたがさすがにくわしいと思つた。三回目にはかなりのたいが三尾入り銀鱈を閉めかして皇太子様のお海の中へ落ちていつた。

『何尾位放流するのですか』と聞かれたので思わず『百尾位結構です』と答えた。皇太子様がたま綱を置かれたので『どうぞこちらへ』といつてさん橋の突端へ案内した。

そこでわたくしはすぐ目の下の半切りたらいにおるあわび採取員にはなかなかに難しいですよ』といはれたので岩礁の間を縫つていくのは熟練を要する旨を申し上げた。それから沖合の大型小型船について町の水産関係者を説明しておるうちにどのくらい時間がたつたか知らない。待従長から『もう時間ですから』といわれハッと思つて『ではどうぞ』と再び皇太子様を案内しながらさん橋を降りはじめた。実はこの瞬間である。わたくしが皇太子様を先導してさん橋を降り、たらいの水族館の下へ少し高台

皇太子様に快く立止まられた。踊つておる会員のあの真剣な目つきを私は今でも忘れられない。何分位経つたらう。待従長から又『時間ですすから』といわれ再度のことにわたくしも一寸恐縮して歩きはじめた。行きは静かな奉迎であつたが帰りの空気はがらり変つて至るところ『万才』の聲が起り、ひどく熱狂的であつた。皇太子様の態度が全く自然であり、何等飾るところがなく、そのまゝの姿が親しみを湧かせたのであらうか。戦前、戦後を生きて来たわたくしどもにとつては時代の流れを殊更強く感じさせられた。再び自動車にお乗りになられ原研へ向わせられた。お見送りの終つた途端、わたくしは何かしら緊張から解き放されたような安心感を覚えた。しかし同時にいろいろな感想が起つた。皇太子様が公式でお出になることはそう度々あるものではない。特に放魚祭で当町が選ばれたといふことは景勝の地であるといふばかりでなく、当町が水産関係で県下有数の地であるからであらう。しかも水産資源を培養しその強化を図るといふことは実に全国水産業界にとつて重要な問題である。農業に較べたしかに水産業にとつてはその資源保護という觀念においては遙かに低く、劣つておるわけである。わたくしどもは皇太子様がお祭り気分になつたといふことを單に深く記念して、これを機会に資源保護の具体化といふ点にまで持つていかなければならぬと思つた。農業では大地を耕し、種子を蒔きそうして收穫する。水産業はどうであるか、たゞ獲るだけではどうにもなるまい。今の中から計画と強力な施策をたてて実行に移らなければ制約された海域での操業はますます困難になるであらう。幸い県漁連でも漁場の耕作化運動を提唱しておるようであるからわたくしどもでできるだけ協力していきたいと思つた。

なおこんどの放魚祭については県水産課を中心とした各課、漁連、組合、商店、警察及び一般町民の力がたがたに非常な協力があった。きお蔭を以て順調に終つたことを地元として厚くお礼申し上げたい。